

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」北田宮校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令を遵守したうえで、工夫してスペースを確保している。	もう少し広く使いたい時もあるので検討している。
	②	職員の配置数は適切である	○		基準職員2名に加え、加配職員2名を配置している。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		支援室の環境は必要に応じてすぐに変更できるようにしている。	玄関の扉が重いので見守りや介助をしている。スロープはないが、現状での支障はない。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		活動内容に応じて変更している。毎日の清掃を実施するとともに、感染対策として消毒と換気を徹底している。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		ミーティングには全職員が参加し、その都度検討している。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートを実施し、取りまとめている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		アンケートを実施し、取りまとめている。毎年度、事業所のホームページで公表。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	法人内での内部監査を実施し、評価結果を業務改善につなげている。	第三者による外部評価は実施していない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部・外部問わず、研修には積極的に参加している。	
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		ニーズの聞き取りはその都度行い、計画に反映している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		きらりのブロック内事業所で使用しているアセスメントシートを使用している。	業務改善のため、標準様式は継続して改善を行う。

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		計画作成に関しては必要な情報を集めるとともに、事業所内での検討および情報共有の内容に基づき作成している。	より具体的な内容が設定できるよう、職員の資質向上を含め、継続的に改善を行う。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		ケース会議において計画内容の共有を行う。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		個別での活動においては担当職員が活動プログラムを決める事が多い。一緒に活動する内容については協同し、立案する。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		発達段階に応じて活動内容を変えたり、興味の移り変わりに応じて工夫している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個別での活動が中心ではあるが、目的によって複数人数での関わりを持つことも計画の支援内容としている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		複数人数での関わりや教材のやり取りなど、必要に応じて打合せをしている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援の内容やご家族からの連絡事項など、必要に応じて情報共有している。	夕方以降、繁忙になるため当日の終業時までの振り返りは最小限で実施している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回、支援記録を作成している。誰が見ても分かりやすい記録を心がけている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		計画期間に関わらず、必要時にはその都度見直しをしている。	
	関係機	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		できるだけ多職種で参加できるように努めている。

関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保護者の協力をもとに必要な情報を協力期間からいただくなど、必要に応じて実施している。	
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当なし。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当なし。	
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者を通じて情報交換をしたり、書面のやり取りなどが中心となっている。	
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者を通じて情報交換をしたり、書面のやり取りなどが中心となっている。	
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		主に担当者会議への参加等で他事業所と連携している。	
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	交流の機会は特別に設けていない。	
	㉗	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		状況に応じて研修会等への参加を行う。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援後に保護者と話をする時間を取り情報共有を図っている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		ペアレントトレーニングなどの画一化した家族支援プログラムは実施できていないが、支援後のフィードバック時やモニタリング時の相談において支援ができるようにしている。	
保 護 者	㉚	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行うと共に、内容変更時にはその都度説明を行っている。	

への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		計画内容や計画期間などの説明を行い、同意を得ている。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		モニタリング時に定期的な聞き取りを行うとともに、随時での相談も実施している。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		事業所内では保護者会の活動はしていないが、保護者参加型イベントの案内等の掲示をしている。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談には随時対応するようにしている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログやLINEを使用して情報発信している。月ごとに利用予定のカレンダーやイベント告知を手渡している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報の入った書類は鍵付き書庫に保管し、パソコンにはセキュリティーをかけるなど、個人情報の保護に努めている。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		特性に応じた視覚的情報や意思疎通手段を選択できるよう、状況の把握に努めている。誰にでも分かりやすい情報の提示を心がけている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	行事は利用者や保護者のみの参加となっている。地域で開催される行事等は掲示してお知らせしている。	外出時などに地域資源を活用している。
非常時	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルは閲覧可能な状態で事業所に設置している。	

等 の 対 応				月一回の防災訓練を実施している。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月一回の防災訓練では様々な種類の災害に対応した訓練を実施している。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		利用開始前には受付シートでの聞き取りを行い、必要の情報の収集に努めている。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食事の提供はないが、保護者からの情報をもとにアレルギーとの接触がないように配慮している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットや事故報告書を作成した時には事業所内での回覧を行っている。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止マニュアルを作成し、年1回の研修を実施している。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束廃止のための研修を年1回実施している。身体拘束の該当事例はないが、必要時には検討できるよう契約時に説明を行っている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」北田宮校

保護者等数（児童数）：8（8） 回収数：6 割合：75%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3	2		1		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	3	1		2		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	2		1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	1		1		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4	1		1		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2	1		3		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	1		1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3	1		2		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3		3		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	1				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4			2		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	2		2		

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5			1		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5			1		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		3	2	1		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3	2		1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4			2		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4			2		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5			1		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1		1		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	6					
	㉓	事業所の支援に満足しているか	5			1		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。